

丘陵上の弥生人、 塚をめぐらす

背景写真：長岡市赤坂遺跡第3次調査 TP1 溝SD01

日時

2024年6月1日(土)
13時30分～16時00分（13時開場）

会場

地域交流館わしま（和島小学校講堂）

（長岡市小島谷3545番地1）

*駐車場に限りがあるため、相乗り等でお出ください。

定員

100名（入場無料）*事前申し込み不要



赤坂遺跡第3次調査出土
スタンプ文土器

報告会 | 13時30分～16時00分 ※調査で見つかった出土品の解説時間を設けます

基調報告 森 貴教（新潟大学人文学部・准教授） 「赤坂遺跡第3次発掘調査の概要」

調査報告1 新潟大学人文学部考古学研究室・学生 「赤坂遺跡の発掘調査成果について」

調査報告2 森 貴教・岩野 輝「長岡市島崎所在の善光寺如来・米山薬師如来連刻塔について」

共催 新潟大学人文学部考古学研究室，わしまコミュニティ協議会，和島公民館

赤坂遺跡第3次発掘調査の成果報告会（長岡市上桐地区）

「丘陵上の弥生人、壕をめぐる」

開催趣旨

新潟県中央部の長岡市和島地区は、1990年に「沼垂城」と記された木簡が出土し話題となった八幡林官衙遺跡（国指定史跡）をはじめ、縄文時代から古代、中世にかけての遺跡が密集しており、環日本海地域の歴史研究において大変重要な地域です。

新潟大学人文学部考古学研究室では地元の皆様のご協力のもと、実習教育の一環として島崎川流域における弥生時代の遺跡の調査・研究を進めており、今年度で6年目を迎えました。昨年8月下旬～9月上旬に実施した赤坂遺跡の第3次調査では、第1次・第2次調査で確認した溝の延伸方向や周辺地形との関係を確認するため3箇所調査区を設定して発掘をおこないました。その結果、溝は東西約35m以上の範囲にわたって延びており、集落を取り囲む「環壕（かんごう）」であったことが明らかになりました。

また、溝に埋まっていた土の中からは、炭化したイネ、スタンプ文（S字状の渦文）が施された弥生土器の小さな破片などが見つかりました。スタンプ文土器は、山陰から北陸西部を中心に分布するもので、新潟県内での出土はめずらしいものです。いずれも弥生時代の研究において貴重な成果といえ、学界で注目されているところです。

今回の報告会では、赤坂遺跡の発掘調査の成果についてご報告するとともに、出土品の内容についてわかりやすく解説したいと思っております。また、長岡市島崎に所在する石造物について、造立年に関する新たな発見がありましたのであわせてご報告します。ぜひお気軽にご参加ください。

日時 2024年6月1日（土） 13時30分～16時00分（13時開場）

会場 地域交流館わしま（和島小学校講堂）（長岡市小島谷3345番地1）

**※和島小学校駐車場の一部がヨネックスレディスゴルフ駐車場としても利用されるため、
駐車場には限りがございます。相乗り等でお出でください。**

定員 100名（入場無料） 事前申し込み不要

内容 基調報告 森 貴教（新潟大学人文学部・准教授）「赤坂遺跡第3次発掘調査の概要」

調査報告1 新潟大学人文学部考古学研究室・学生「赤坂遺跡の発掘調査成果について」

調査報告2 森 貴教・岩野 輝「長岡市島崎所在の善光寺如来・米山薬師如来連刻塔について」

※基調報告と調査報告1の間に、出土品の解説時間を設ける予定です。

共催 新潟大学人文学部考古学研究室、わしまコミュニティ協議会、和島公民館

お問合せ わしまコミュニティセンター 電話（0258）74-3300